

JOCジュニアオリンピックカップ

第55回全日本中学生ホッケー選手権大会

【大会レギュレーション(TD通達)】

1. 大会運営

本大会の運営は、(公社)日本ホッケー協会2025年度版6人制ホッケー競技規則、同競技運営規程、レギュレーション、大会レギュレーション(TD通達)及び有効な通達事項に則り行われる。

2. 競技規則

(公社)日本ホッケー協会2025年度6人制ホッケー競技規則による。

3. 競技時間(熱中症対策として下記のように試合時間を4Q制に変更する。)

(1) 試合時間は、7分間の4クォーター制とする。(ノンストップ方式)

(2) 第1・第3クォーターの後に1分間のインターバル、ハーフタイムに5分間の休憩を設ける。

1Q	インターバル	2Q	ハーフタイム	3Q	インターバル	4Q
7分間	1分間	7分間	5分間	7分間	1分間	7分間

(3) 試合は原則としてオンタイムで開始する。そのため、チームの皆様の協力をお願いしたい。

4. 時 計

試合時間は、テクニカルテーブルで管理する。

5. 競技方法

(1) 男女とも、3チーム総当たりの予選リーグを行い、上位各2チームが決勝トーナメントに進出する。

(2) 決勝トーナメントにおいて規定の時間内に勝敗を決しないときは、試合終了後ただちに「7.」に定めるシュートアウト戦(以後「SO戦」とする)を行い、勝敗を決する。

6. 予選リーグの順位決定方法

(1) 勝ち点の多いチームを上位とする。勝ち点は、勝利チームに3点、引き分けチームに1点をそれぞれ与え、敗戦チームは0点とする。

(2) 勝ち点が同点の場合は、下記の順序・方式により順位を決定する。

①リーグ戦における「得失点差」(「総得点数-総失点数」の差が多いチーム。)

②リーグ戦における「総得点数」の多いチーム。

③上記において、同点の場合、「7」に定めるSO戦により順位を決定する。なお、同位チームが3チームの場合は、同一チームが連勝したとき(試合順序は競技運営規程付則書2.1.9参照)、そのチームを1位とする。(順位決定SO戦は、事象発生があった時点で通告する。通告後速やかに実施する。)

7. シュートアウト戦（SO戦）

※詳細については 2025 年度競技規則及び 2025 年度競技運営規程参照

- (1) 両チームの監督は、レッドカードによる退場処分を受けている選手を除いた、公式試合記録に記載された選手の中から 3 名の選手と 1 名のゴールキーパーを指名する。
- (2) 両チームの主将によりトスを行い、先攻・後攻を決める。その後、両チーム 3 名ずつの選手により交互に攻防を 1 巡行い（計 6 回）、得点の多いチームを勝者とする。なお、勝敗が決した時点で終了する。
- (3) (2) の方法によって勝敗の決しない時は、両チームが同数の攻防を行った中で最初にリードしたチームを勝者とする再 SO 戦を行う（サドン・デス方式）。この場合、選手はプレイ不可能な者を除き各チーム同じ選手により先攻・後攻を入れ替えて SO 戦を行う。ただし、攻撃を行う順番は変えても良い。
- (4) SO 戦において PS になった場合は、当該 SO 実施選手に限らず公式試合記録に記載された選手が PS を実施することができる。

8. 試合の中断と追試合

天候などやむを得ない理由等により TD が判断し試合が中断された場合は、下記により試合を再開する。

- (1) 中断した時の得点で残り時間のみ試合を行う。
- (2) 期日・競技場・審判員等は、同じとは限らない。

9. チームベンチ

1 チームの編成は、監督 1 名、コーチ 1 名以内、チーム医療スタッフまたは手当てをする者 2 名以内、選手 12 名以内とする。

※選手は 1 ～ 12 の番号をユニフォームの定められた場所に明示する。

※参加申込みの際、同一校・同一クラブの男女チームの監督を兼ねることはできない。監督とコーチの兼任は可とする。ただし、男女それぞれのチームで JHA のチームスタッフ登録を済ませていること。なお、学校部活動の監督については教員または、部活動指導員であること。

※クラブチームにおいては、監督またはコーチのどちらかは指導者資格を有し、指導者資格を有する者がベンチ入りすること。（JSP0：日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 コーチ 3 以上）

※手当者は大会開始日に 20 歳以上の者で JHA チームスタッフ登録を済ませること。

※チームベンチには、参加申込書に記載された者以外は入ることができない。（但し、学校長、チーム代表者、ベンチには入れない 3 年生等、TD の許可を受けた者はこの限りではない。このことは監督会議で確認する。）

10. フィールドへの立ち入り

試合中、選手にケガ等が起こった場合は、ベンチ内にいるチーム医療スタッフ、または手当てをす

る者の1名及び監督・コーチ*のどちらか1名が、当該審判員の許可を得てフィールド内に入り、手当てを行うことができる。(ただし、その際にコーチングをすることは厳禁)

*：中学生を指導している実情を考慮し、負傷時等の対応としてコーチを特例として認める。

1 1. 選手の交代

- (1) 各チームは、試合中随時どの選手でも交代できる。その際ビブス等（ユニフォームと異なる色）を使用して交代することとする。但し、P Cが与えられている間は、誰も交代できない。（負傷した守備側のG Kは除く）
- (2) 一時退場（グリーンカード：1分、イエローカード：2分以上）中の選手に対する交代は、当該選手の退場時間中は許可されない。
- (3) 選手の交代は、センターライン付近で行われる。その際、時間の停止は行わない。但し、G K及び負傷者の交代については、審判員の管理下で行われる。

1 2. ルール確認 ※2023 年以降の変更点のみ

- (1) 落下地点でレシーブしようとしている選手に対し、4 mより離れた地点から近づいてボールをインターセプトすることができる。上げられたボールを受け取る側がボールに触れた瞬間に相手側がプレイすることが可能になる。（ただし、危険と判断された場合はこの限りではない。）
- (2) P Cの際、守備に入らない守備側選手、罰則を受けて攻撃や守備に参加できない選手は、全て相手側16 mエリアに位置する。
- (3) S O戦について、ゴールラインからフィールド中央の16 m地点にひかれた16 mスポット上から行い、開始の合図から6秒以内とする。
- (4) P Cにおいて守備側のフリーヒットでゲームが一旦途切れて再開される場合、P C用の防具を全て取り外してからプレイしなければならない。
- (5) P Cがあたえられたとき、すべての守備側選手は、顔面または頭部全体を保護するフェイスマスクを着用すること。ただし、特別な理由があって装着できない場合は、「未装着届」（別途送付）を必ず提出すること。

1 3. 確認事項

- (1) 今大会では、チームは事前にシステムの「会員証 一括印刷」より顔写真入りの会員証を印刷し、選手各自がネックホルダーに吊り下げて提示する。（カラーまたは、白黒印刷は問わない。）
- (2) 今大会では、「スターティングリスト」の提出は行わない。試合開始15分前に次試合チームは、「次試合チームテント」で待機するとともに、監督がスターティングメンバー6名を担当競技役員に申告する。次試合チームテントでは、競技役員により選手確認、リングパス、服装・装具の点検を行う。
- (3) ユニフォームは必ず2着（色は反対色になるもの）を用意し、試合会場（ベンチ）に持参すること。

- (4) 選手はすね当てを必ず着用し、ストッキングを上まであげて履き、膝は隠さないこと。また、マウスガードは必ず着用すること。ただし、特別な理由があつて装着できない場合は、「未装着届」(別途送付)を必ず提出すること。
- (5) キャプテンは、上腕または、ストッキングのどちらかにキャプテンマークをつけること。
- (6) GKは、ケガの防止のため装具を完全に着用すること。また、アンダーパッドは必ず使用すること。(チームの責任で遵守すること)
- (7) チームベンチは、[競技日程表]の左側のチームがテクニカルテーブルからコートを見渡せる方向から見て左側のベンチとする。
- (8) PCで使用する保護具は、試合開始前、担当TOにより確認をする。
- (9) 応援者は、大会実行委員会およびU15カテゴリー部会の指示に従うこと。(保護者など応援者からの抗議等には一切応じない。監督は保護者による抗議等にはできない旨を事前に周知すること。)
- (10) 試合中、乱暴なプレイや審判員に対する誹謗等スポーツマンらしくない行為は、厳に戒める。
※参加者(チーム、競技役員、大会関係者)は、(公社)日本ホッケー協会が定める諸規程を熟知し、その内容に同意の上、「行動規範確認書」を提出したものとみなす。違反した場合には、懲戒処分を受ける可能性があり、参加者は自身の言動について責任を負うものとする。
- (11) 選手が負傷により出血したときや頭・顔・心臓付近にボールが当たったときは、本人・チームの意向とは異なつたとしても、安全確認のため直ちに退場すること。止血処理と傷の手当てが完了するまでは、再出場できない。(試合時間で1分間以上の安静時間を取ること)
なお、ユニフォームに血液がついた場合、そのユニフォームでの試合は参加できない。
- (12) 試合開始時、選手が6人に満たない場合でも試合は成立する。ただし、GKは必ず配置しなければならない。また、登録時(大会参加申込書に登録した選手)においても6名に満たなくともエントリーを可とする。(今大会における特例緩和措置)なお、棄権または試合中に退場・怪我等により、1チームの人数が3名以下になった場合は、その試合は没収試合とする。
・予選リーグにおいて没収試合があつた場合は、そのチームの試合をすべて没収し、残りのチームで順位を決定する。なお、没収試合のスコアは5-0とする。
・決勝トーナメントにおいて没収試合があつた場合は、相手チームの不戦勝とする。
- (13) 「負傷・事故報告書」の提出を課せられた者は、医師による治療後、負傷・事故報告書をTOまたは、TDに提出する。本人への健康確認のうえ、次試合の出場を認める。試合が無い場合は、負傷・事故報告書の原本を大会事務局に郵送するか、PDFファイルにしてデータを大会事務局に送付すること。
- (14) 今大会において、抗議制度はない。
- (15) 試合終了後、両チームの監督は、テクニカルテーブルで公式試合記録に署名すること。
- (16) その他、本レギュレーションに定めのない事項または、不測の事態が発生した場合は、TDの指示に従うこと。
- (17) PCが与えられたとき試合時間は停止されない。また、準備のために40秒間の計測はしないが、守備側選手のフェイスマスク、保護用グローブ、膝当て等の着用は速やかに行うこと。

- (18) 個人罰則について、グリーンカードは競技時間中に1分間退場、イエローカードは競技時間中に2分間以上の退場処分が科せられる。退場時間の長さはカードを提示した審判員からTOに伝えられる。退場時間の管理は、TOが行う。カードが複数枚出された場合は退場時間が加算される。
- (19) メーカー識別標章（マニファクチャラーロゴ）については、JHA ユニフォーム規程に示されたことを原則とする。現在使用しているユニフォームについては、義務教育下であることを考慮し、監督会議にてTDの判断により対応を指示する。ただし、今後新しいユニフォームを作成する場合は、ユニフォーム規程に準じたものを作成すること。
- (20) 熱中症対策については、「ホッケー競技における熱中症対策ガイドライン」に基づき、大会実行委員会および（公社）日本ホッケー協会 U15 カテゴリー部会と協議の上、TDが対策を決定する。

以上